

第二回大会にご参加下さい

寒暖の激しい日々になっていますが、会員各位におかれてはお元気でご活躍のことと思います。

さて、公教育計画学会の設立から半年が過ぎ、いよいよ第2回大会の開催が近づいてきました。設立総会の時に行った第一回大会とは違い、研究部会や自由研究の報告が盛り込まれています。

第二回大会は公開シンポのテーマ「新政権の教育政策に提言する」に見られるように、昨年9月、本学会の設立に先立って成立した民主党を中心とした連立政権に対して、学校の設立趣旨にのっとり、政策提言をすることを眼目としています。研究部会はそれぞれの課題に即しての提案になり、自由研究報告もその方向性を踏まえています。公開シンポは教育財政と学校制度にかかわっての提案になります。

新政権発足後、いろいろの政策の面で軸が定まっていないうに見える状況になりつつあります。こうした状況であるからこそ、公教育計画学会が原理を踏まえた教育政策提言を行うことはきわめて重要な役割になります。

さらに、学会活動の成否は参加者の多寡はもちろんのこと、大会での議論や意見交換の在り方にかかっています。ぜひ多くの会員の参加と活発な議論を期待しております。あわせて、専修大学神田校舎は交通の便には恵まれておりますので、一人でも会員になっていただけるようお知り合いの方を誘っていただければ幸いです。

会長・第二回大会準備委員長
嶺井 正也（専修大学）

公教育計画学会第2回大会のご案内

5月22日（土）	11:00	第4回理事会（8A会議室）
	13:00	受付
	13:30	研究部会報告・議論（8A会議室）
	17:00	第2回総会（8A会議室）
	18:00	懇親会（～19:30）（15Fホール）
5月23日（日）	8:30	受付
	9:00	自由研究発表
	12:00	昼食・シンポ打ち合わせ
	13:00	公開シンポジウム
	16:00	終了

公開シンポジウム：テーマ案 「新政権の教育政策に提案する」

コーディネーター 嶺井正也（会長、専修大学）

シンポジスト 菅原敏夫（自治総研）「教育を含む行財政制度全体の視点から」

国祐道広（会員）「日米政権交代—学校制度改革」

中村文夫（会員）「国と地方、そして学校現場からの教育財政」

研究部会報告：

- 1、インクルーシブ部会（堀）
- 2、日本国教育基本法案（石川）
- 3、学校教育環境整備法案（中村）
- 4、改正地教行法（文部科学省、教育委員会、理事会等）（田口）
- 5、教育一括交付金（中村）
- 6、社会教育・生涯学習（戸倉）

自由研究発表：

（1）第1会場

①三戸学「インクルーシブな授業づくり」

②堀智晴「インクルーシブ教育への道—イタリアの30年の経験に学ぶ—」

③林公一「特別権力関係の現在—理論の消失と実態の存続」

（2）第2会場

①嶺井正也「へき地小規模校をめぐる政治経済学」

②山口伸枝「学校から地域へ広がるネットワーク・拡張サービス—英国教育レポート」

③山城直美「自然災害発生時に避難場所となる学校の機能と課題—右田地区土砂災害に学ぶ」

会場：専修大学神田校舎（懇親会も）

地図は下記HP

http://www.senshu-u.ac.jp/univguide/campus_info/kanda_campus/index.html

大会日程 2010年5月22, 23日

第1日 5月22日(土)

11:00 理事会	13:00 受付	13:30 研究部会報告・論議	17:00 第2回総会	18:00 懇親会
-----------	----------	-----------------	-------------	-----------

:

第2日 5月23日(日)

8:30 受付	9:00 自由研究発表	12:00 昼食	13:00 公開シンポジウム
---------	-------------	----------	----------------

16:00 終了